

教育目標：○よく考える ○進んで働く ○協力し助け合う ○心身を鍛える



光二中だより

<https://www.hikarigaoka2-j.nerima-kyo.ed.jp>

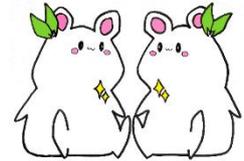
令和8年 2月 27日

練馬区立光が丘第二中学校

TEL 3976-9202

FAX 5383-3608

- 1 「学校評価アンケート（保護者）」結果
- 2 「学校評価アンケート（生徒）」結果
- 3 「全国学力・学習状況調査」（3年）結果
- 4 「東京都生徒体力・運動能力調査」結果

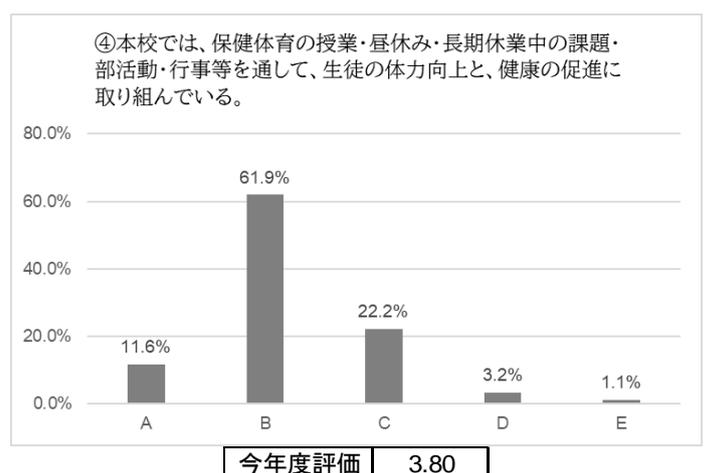
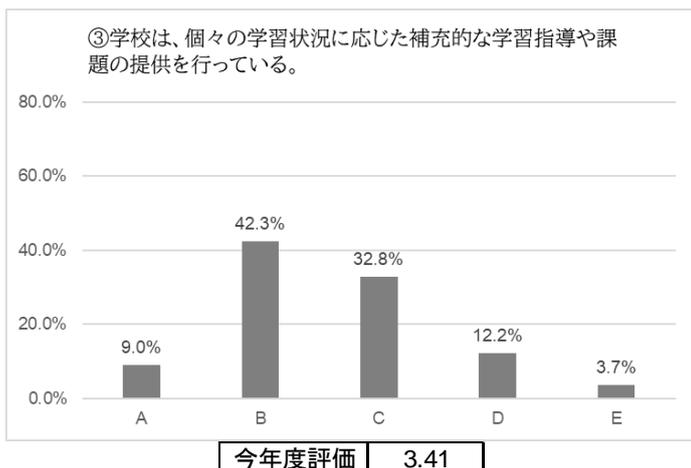
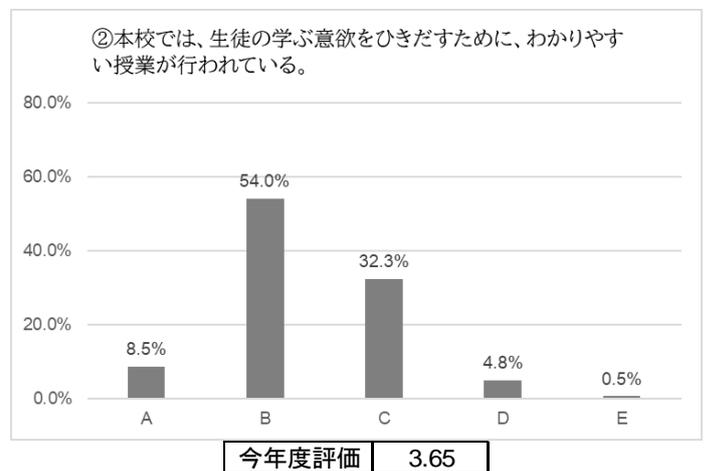
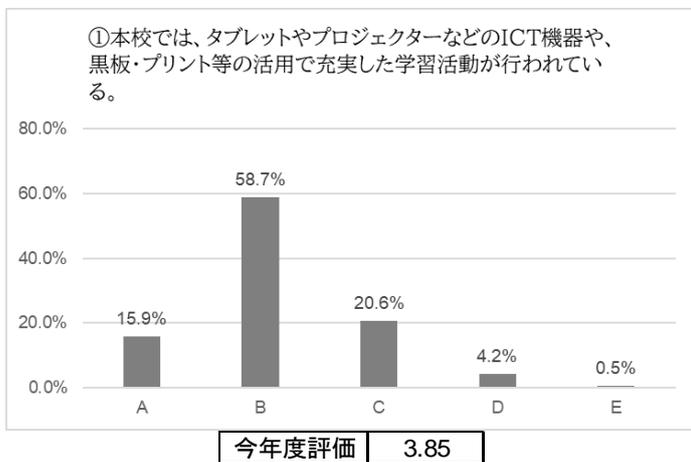


令和7年度 学校教育に関する意識調査集計結果《保護者》

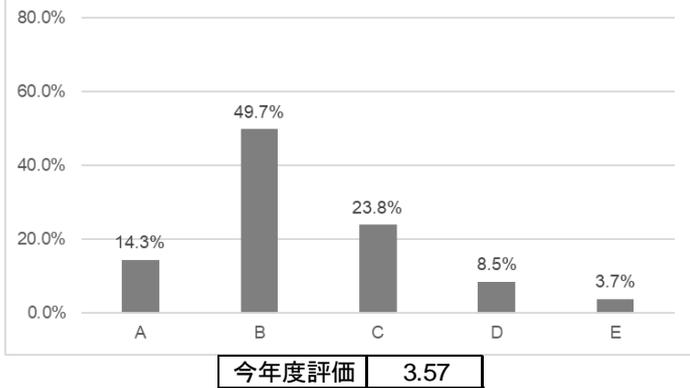
〈評価段階表〉

A…とてもあてはまる B…おおむねあてはまる
C…どちらとも言えない D…あまりあてはまらない
E…あてはまらない

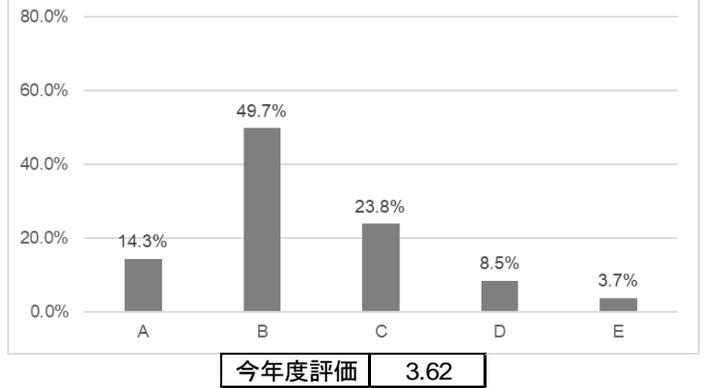
※評価の数字は、A…5点 B…4点 C…3点 D…2点 E…1点として全体の平均点を示しています。3が中間値



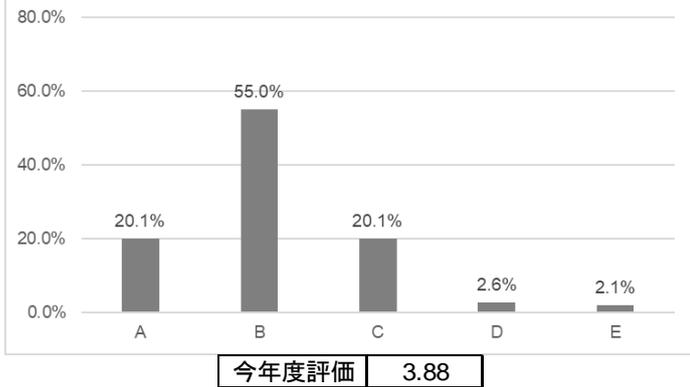
⑤本校は、生徒が考えや悩みを気軽に話せる雰囲気が設けられている。



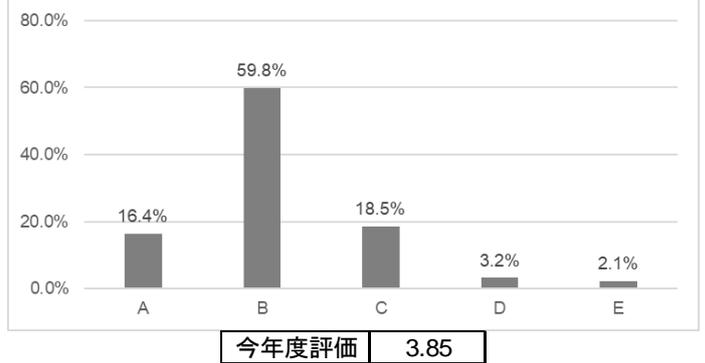
⑥本校は、生徒の小さな変化に気付いたときには、すぐ連絡や相談ができる体制になっている。



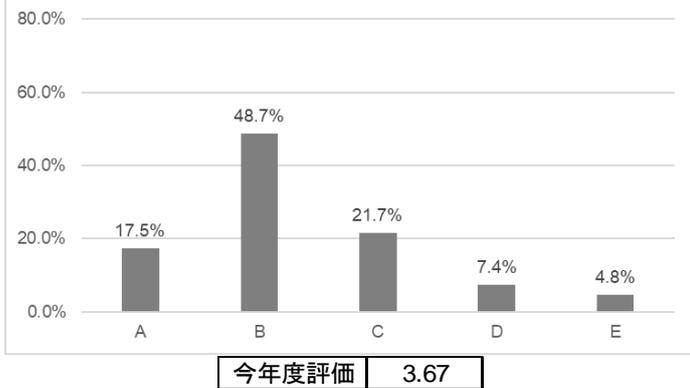
⑦本校では、挨拶やマナー等の基本的な生活習慣の確立に関する指導を行っている。



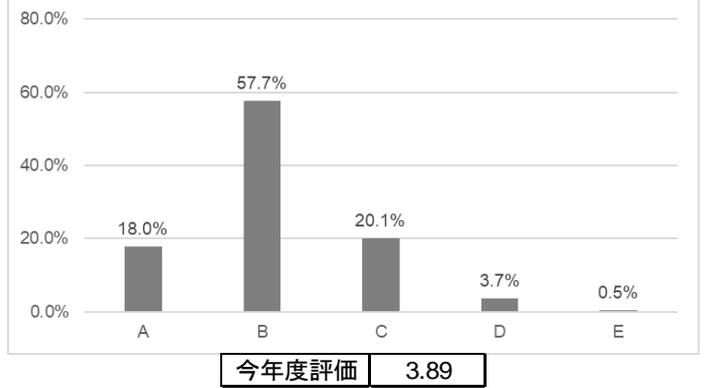
⑧本校では、キャリア教育(職業調べ・職業体験・職場体験・進路指導等)を通して、生徒・保護者へ適切な情報を提供している。



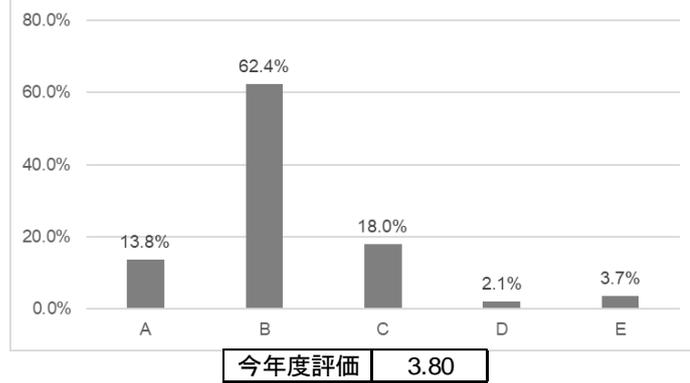
⑨朝読書を通して自分のペースで読書に親しんでいると感じている。



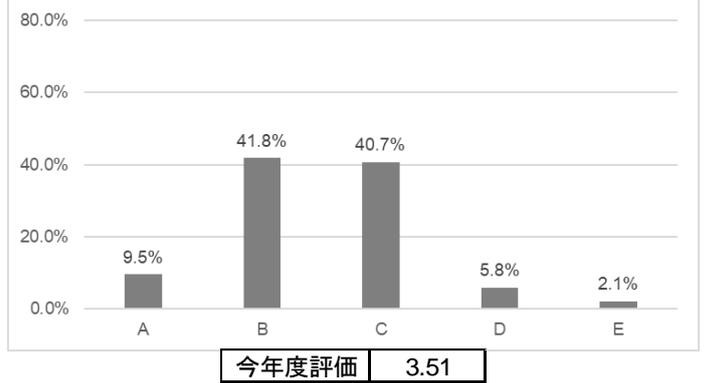
⑩本校では、施設と設備が安全かつ衛生的に管理されている。



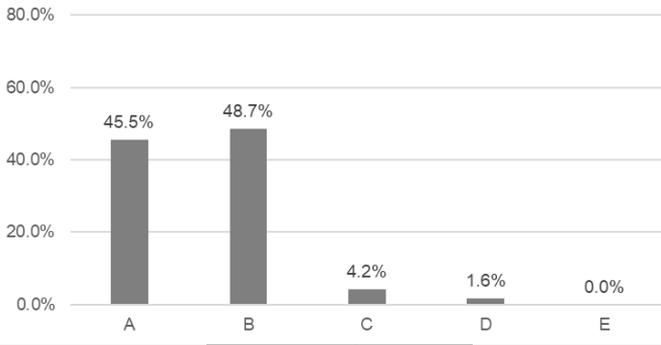
⑪本校では、必要な時に、教職員やカウンセラーが相談に応じる体制ができている。



⑫本校では、特別に支援を要する生徒の対応を共通理解し、連携を図りながら対応している。

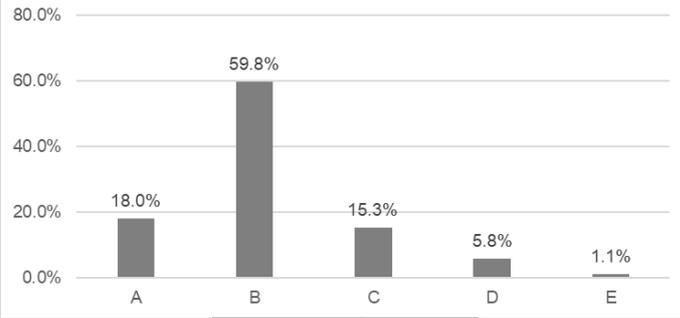


⑬本校では、生徒にとって有意義で活躍できる学校行事(運動会・合唱コンクール・学年行事等)がある。



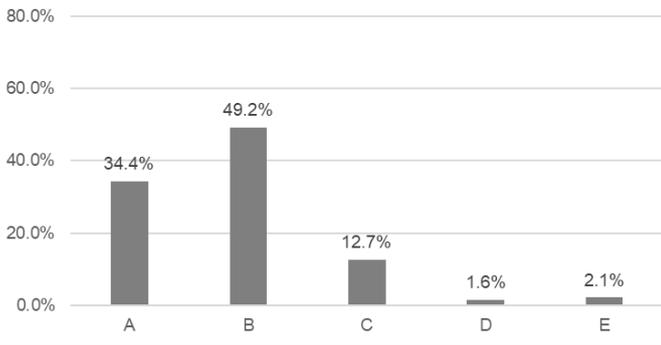
今年度評価 4.38

⑭本校では、地域と連携した活動内容(小中連携・学校評議員会・避難拠点運営連絡会)を生徒や保護者に、学校だよりやHP、掲示板等で周知している。



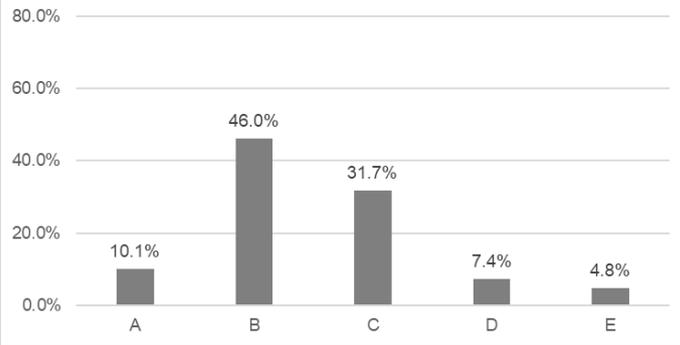
今年度評価 3.88

⑮本校では、教職員の電話対応や来校者に対する対応が誠意をもって行われている。



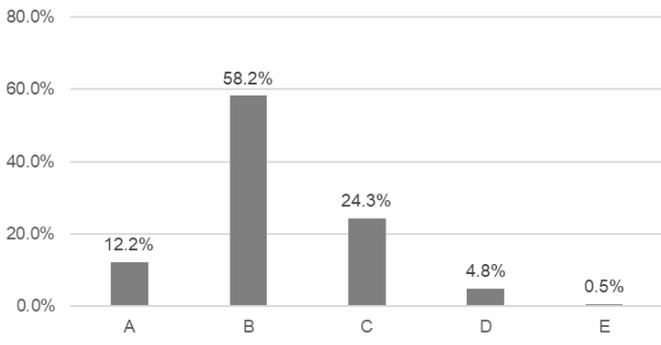
今年度評価 4.12

⑯いじめなどに対して、未然防止、早期発見、解決に向けて教職員が協力して取り組んでいる。



今年度評価 3.49

⑰学校で地震や災害など様々な危険を予測し、回避する力が育まれている。



今年度評価 3.77



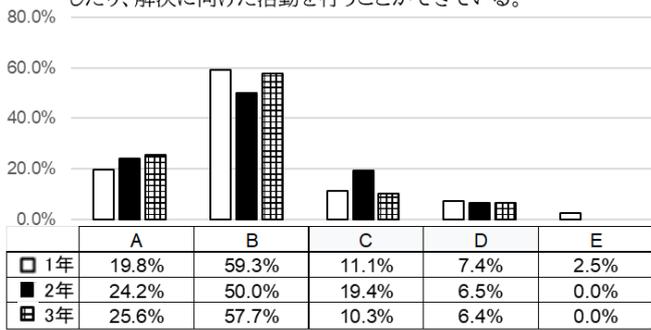
令和7年度 学校教育に関する意識調査集計結果《生徒》

〈評価段階表〉

A…とてもあてはまる B…おおむねあてはまる
 C…どちらとも言えない D…あまりあてはまらない
 E…あてはまらない

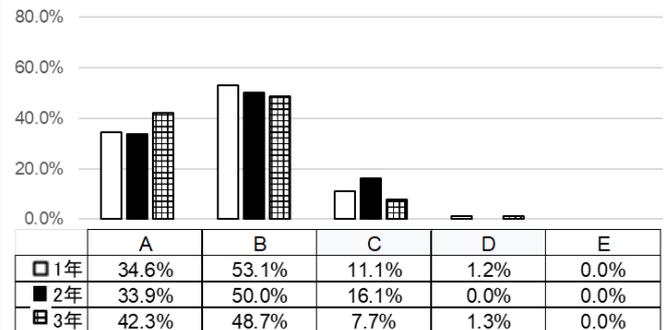
※評価の数字は、A…5点 B…4点 C…3点 D…2点 E…1点として全体の平均点を示しています。3が中間値

①タブレットの機能を活用して、様々な考えや知識・工夫やアイデアを共有し、生徒同士で意見交換したり、課題を発見したり、解決に向けた活動を行うことができている。



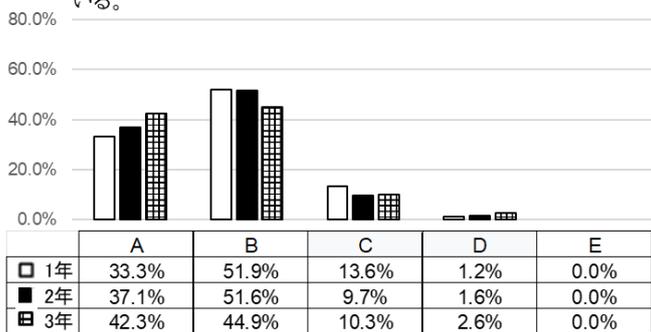
今年度評価 3.94

②生徒の学ぶ意欲をひきだすために、わかりやすい授業が行われている。



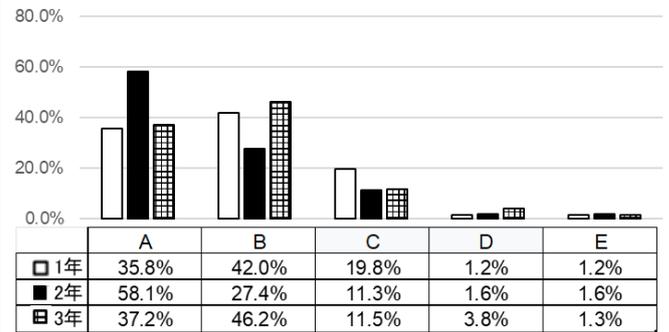
今年度評価 4.24

③先生は、他者との関わりを通して行動を振り返ったり、相手の気持ちに気付いたりできるような場に応じた指導をしている。



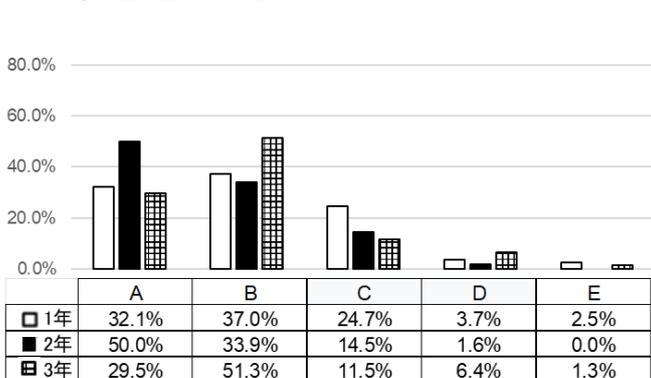
今年度評価 4.23

④先生は、相談や「わすれないぞう」等で、あなたの気持ちや不安・課題を分かろうとしている。



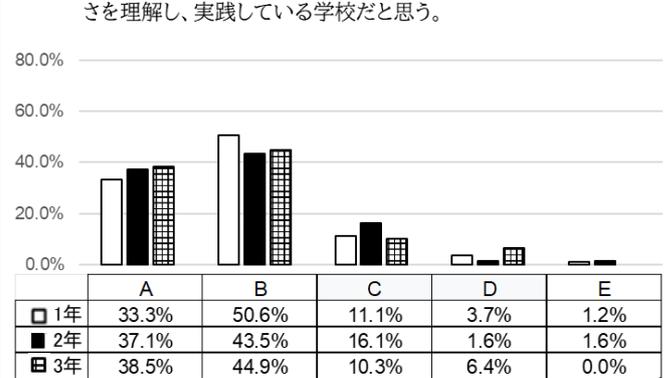
今年度評価 4.19

⑤先生が生徒の考えや悩みを気軽に話せる雰囲気がある。



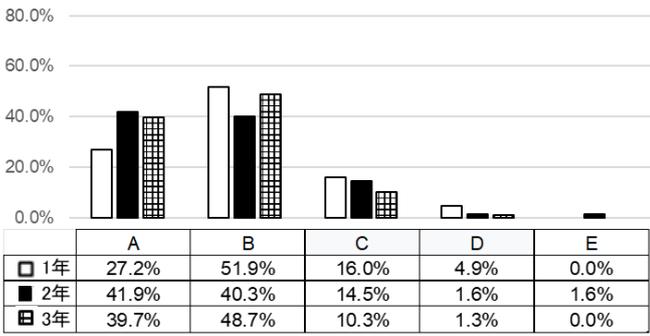
今年度評価 4.07

⑥「光が丘二中ルール」・「光二中五か条」を守ることの大切さを理解し、実践している学校だと思う。



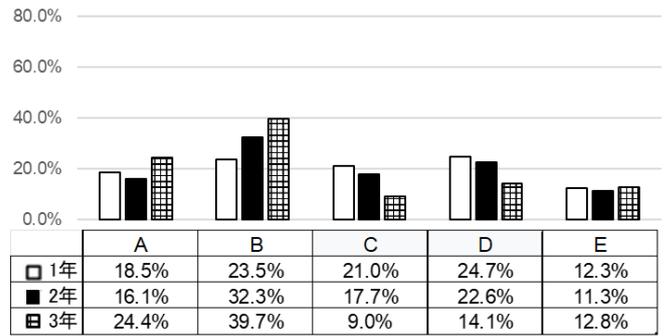
今年度評価 4.13

⑦あなたは、学校や教室の美化に努めている。



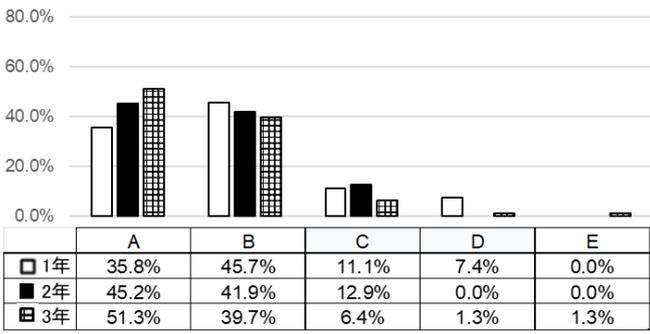
今年度評価 4.15

⑧相談室やマイステップアップルームの存在や利用方法を知っている。



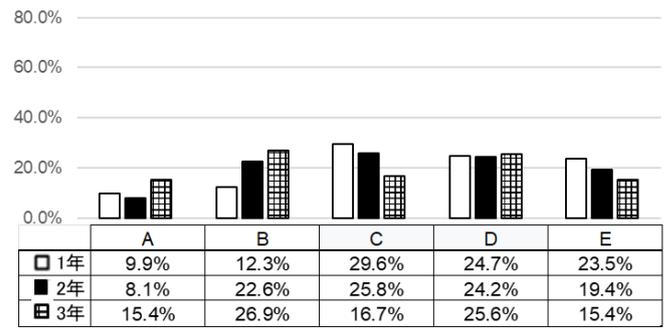
今年度評価 3.27

⑨学校では学級で協力的、何かをやり遂げ、充足感や満足感を得ることができている。



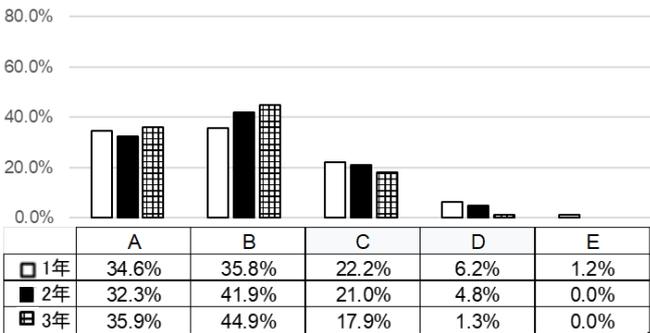
今年度評価 4.26

⑩地域の行事やボランティア活動にはすすんで参加している。



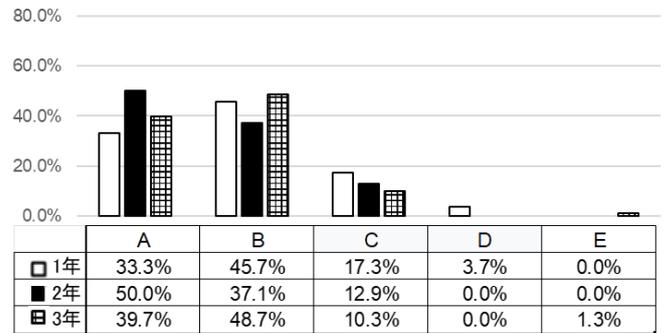
今年度評価 2.79

⑪先生は『いじめは絶対に許されない。』という姿勢を示し未然防止、早期発見、解決に向けて取り組んでいる。



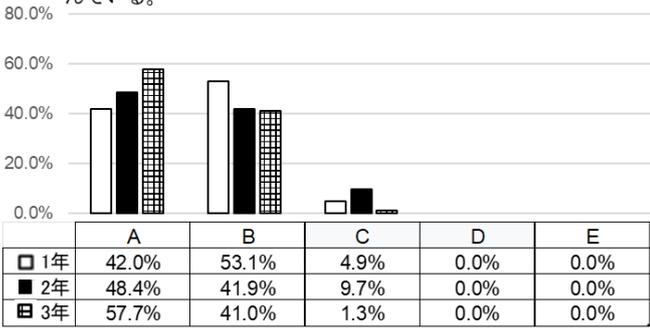
今年度評価 4.05

⑫先生は、いじめや仲間はずれなどなく、相手の立場を考え、互いに協力し合う関係が作れるよう教えてくれている。



今年度評価 4.23

⑬学校では、地震や火事など様々な危険を予測し、回避するための行動や安全に身を守るための知識や対応について学んでいる。



今年度評価 4.44

御 礼

校長 水谷 実岐

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
またこの度は、お忙しい中学校評価アンケートにご協力いただき、深く御礼申し上げます。

保護者アンケートにおいて、今年度 4.0 点を超えている項目は「⑬本校では、生徒にとって有意義で活躍できる学校行事がある→4.38」「⑮本校では、教職員の電話対応や来校者に対する対応が誠意をもって行われている→4.12」の 2 項目でした。今後ともに自信をもってレベルアップに努めます。しかし、昨年度は 5 項目で 4.0 点を超えていました。「⑦本校では、挨拶やマナー等の基本的な生活習慣の確立に関する指導をおこなっている→令和 6 年度 4.06/令和 7 年度 3.88」「⑩本校では、施設と設備が安全かつ衛生的に管理されている→令和 6 年度 4.11/令和 7 年度 3.89」「⑭本校では、地域と連携した活動内容を生徒や保護者に、学校だよりや HP、掲示板等で周知している→令和 6 年度 4.19/令和 7 年度 3.88」の項目について下降がみられました。「C:どちらともいえない」の数値が気にかかります。そのため、学校だよりや HP での周知の面で改善してまいります。

生徒アンケートにおいて、12 項目中 10 項目で 4.0 点を超えました。「⑧相談室やマイステップアップルームの存在や利用方法を知っている→3.27」「⑩地域の行事やボランティア活動にはすすんで参加している→2.79」がその他 2 項目となります。生徒の活動状況から、本校はボランティア活動への意欲が高い学校である、と自負していましたが、生徒たちの受け止め方とは温度差があることがわかりました。社会に出る機会を確保すること、参加したならば自信をもって成果を発表し自分自身の糧にすること等、引き続き指導していきます。

「わかりやすい授業が行われている→保護者 3.65 生徒 4.24」「悩みや考えを気軽に話せる雰囲気→保護者 3.57 生徒 4.19」この 2 点については学校教育の肝となります。実際に学校生活を送っている生徒たちからの高評価は嬉しく受け止めたいと考えています。

今後とも高評価を目指すとともに重要であるのが、C.D.E の評価が 0 であることだと考えます。生徒たちの日々の様子の変化や発せられる声にしっかりと耳を傾け、教員の本務であるより良い授業における研鑽に努めてまいります。

3.4について3学年、国語科、数学科、理科、保健体育科の各担当者が下記にまとめました。今年度の「全国学力調査・学習状況調査」の理科ではタブレットを使用した調査方法が行われました。「東京都生徒体力・運動能力調査」の2点からですが、本校の様子をご確認いただくと幸いです。

3 「全国学力・学習状況調査」(3年)結果

国語	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
練馬区立光が丘第二中学校	106	8.3 / 14	59	9.0	2.5
東京都(公立)	70,618	8.0 / 14	57	8.0	2.7
全国(公立)	870,560	7.6 / 14	54.3	8.0	2.7

数学	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
練馬区立光が丘第二中学校	106	8.7 / 15	58	9.0	3.9
東京都(公立)	70,646	8.0 / 15	53	8.0	4.3
全国(公立)	871,097	7.2 / 15	48.3	7.0	4.2

理科	生徒数	平均IRTスコア	標準偏差
練馬区立光が丘第二中学校	104	511	99.0
東京都(公立)	68,954	506	117.9
全国(公立)	864,634	503	124.0

IRTバンド	生徒数	割合(%)		
	練馬区立光が丘第二中学校	練馬区立光が丘第二中学校	東京都(公立)	全国(公立)
5	5	4.8	5.5	6.2
4	27	26.0	21.4	20.3
3	49	47.1	43.8	42.0
2	21	20.2	25.7	27.3
1	2	1.9	3.6	4.2

「標準偏差」:データが平均値の周辺にどれくらい散らばっているか(ばらつき具合)を示す統計指標。標準偏差が大きいとばらつきが大きく、小さいとデータが平均付近に集中している。

「IRTスコア」:テストの各問題への解答パターンから受検者の学力を推定・数値化した得点。500を基準としている。点数が高いとスコアも高い。

「IRTバンド」:個人の学力を1(低)~5(高)の5段階で評価する指標。3を基準とし、1~5のレベルで評価(5が最高)。

3年生 国語

(実施日 令和7年度4月17日)

本校の平均正答率は、59%であり、全国公立中学校と東京都公立中学校の平均正答率を上回った。また、標準偏差は「2.5」であり、学力のばらつきが少ないことが表れている。これらのことから、本校の生徒は全体的に高い水準で国語の力が身に付いているといえる。問題別で見ると、「聞き手の反応を見て発した言葉について、そのように発言した理由を説明したものとして適切なものを選択する」「物語の始めに問いかけが示されていることについて、その効果を説明したものとして適切なものを選択する」「登場人物が物語の中でどのような性格の人物として描かれているかを書く」の問題においての正答率が高い。そこから、文章を深く捉え、筆者の主張や表現の効果などを明確にする思考の積み重ねが読む力を育てていったと考えられる。また、自分の考えが伝わるように熟考し、書き上げた文章を提出する活動も多く取り入れていることで、書く力も高まってきている。

一方で、漢字や語句の意味に関する問題の正答率が低い。漢字を覚える習慣を付ける取組を実施したり、語句の意味を授

業でも取り上げたりして、語彙力を付けていく必要がある。

3年生 数学

(実施日 令和7年度4月17日)

本校の平均正答率は「学習指導要領の領域等」「評価の観点」「問題形式」の分類のほとんどの項目において、全国公立中学校の平均正答率や東京都公立中学校の平均正答率を上回った。唯一「学習指導要領の領域等」の中の「データの活用」が、東京都公立中学校の平均正答率を下回ってしまった。

一方で、思考力・判断力・表現力の範囲では全国や東京都の平均正答率よりも約10ポイント上回り、証明や数学的な表現を用いて説明することができるようになってきた。また問題別集計結果を見ると、「素数や相対度数の意味を理解しているか」「必ず起こる事柄の確率について理解しているか」という、知識を問われる問題の正答率が低かった。

以上のことから、忘れやすい知識の定着を図るため、繰り返し重要語句に触れる機会を増やし、定着してきている「数学的な表現を用いて記述する練習」を重ねていく必要がある。

3年生 理科

(実施日 令和7年度4月16日)

本校のIRTスコア「511」は高く、全国公立中学校や東京都公立中学校のIRTスコアを上回った。IRTバンドでは、「5」の値は全国公立中学校や東京都公立中学校のIRTバンドよりも下回ったものの、「4」の値は全国公立中学校や東京都公立中学校のIRTバンドを上回った。また、「2」「1」の値は、全国公立中学校や東京都公立中学校のIRTバンドを下回った。

これらのことから、本校の学力は、全体的に「学習指導要領の領域等」「評価の観点」「問題形式」の分類において全国公立中学校や東京都公立中学校よりも定着しているといえる。ただし、問題別で見てみると、「地層の性質から、水が染み出る場所を判断し、その場所を選択する」「呼吸を行う生物」「必要な実験を選択し、予想される実験の結果の記述」の正答率が10%~20%代だったので、課題があると考えられる。

以上のことから、分析して解釈する力、知識を概念として身に付ける力、実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明できる力を特に意識してつけていく必要がある。

3年生 質問紙調査

(実施日 令和7年度4月16日)

①「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を合わせると約86%の生徒が学校に行くのが楽しいと感じている。また、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどのくらいありますか」という質問に対して、全国約48%、東京都は約46%が「よくある」と回答したが、本校の「よくある」の回答は約50%である。この2つの質問から、楽しく生活を送れている生徒が多くいることが読み取れる。

②「読書は好きですか」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を合わせると約71%の生徒が読書が好きと感じている。全国、東京都と比べると、約10ポイント高い。毎日の朝読書の時間によって、普段から本に触れ、読む楽しさを感じているためだと考えられる。

③「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という質問については、「当てはまる」の回答が、全国、東京都と比べると、約7ポイント低い。このことから、地域貢献や社会貢献に対する意欲はあるものの、実際に参加するまでには至っていない現状がある。前年度の課題でもあり、大分ボランティアに対する意識は高まり多くの生徒が参加してくれたが、より一層のボランティアの推進や行事に参加できる雰囲気づくりに力を入れていく。

④「PC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができますか」という質問に対して、全国約37%、東京都は約32%が「よくある」と回答したが、本校の「よくある」の回答は約39%である。これは、教科や総合的な学習の時間でタブレットを使う頻度が増えたためだと考えられる。

4 東京都生徒体力・運動能力調査結果（実施日 令和7年度5・6月）

東京都生徒体力・運動能力調査は、握力（筋力）、上体起こし（筋持久力）、長座体前屈（柔軟性）、反復横跳び（敏捷性）、20mシャトルラン（全身持久力）、50m走（スピード）、立ち幅跳び（瞬発力）、ハンドボール投げ（巧緻性、瞬発力）の8種目を行い、体力の傾向を把握する。本校では、5・6月に実施した。次に示すのは、男女別の体力テストの結果である。

1年男子は、東京都平均より全体的に高い傾向にあるが、全国平均を下回る種目が複数ある。特に、ハンドボール投げは東京都、全国平均共に下回っている。球技の授業を通して、投げる動作や様々な体の使い方を体験することで向上を図る。

1年男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ハンドボール投げ	体力合計点
学校平均	24.16kg	24.65回	43.5cm	50.22回	67.89回	8.67秒	188.02cm	16.58m	35.06
東京都平均	23.36kg	23.35回	40.09cm	48.57回	64.56回	8.67秒	181.13cm	17.81m	33.44
全国平均	24.3kg	23.48回	41.68cm	49.8回	68.91回	8.42秒	184.99cm	18.34m	35.47

2年男子は、全国平均より全体的に低い傾向がある。特に、握力は東京都、全国平均共に大きく下回っている。20mシャトルランは、東京都、全国平均共に上回った。昨年度も20mシャトルランは平均を上回っており、体力が維持されていると考えられる。握力は、補強運動等を継続し、筋力の向上を図る。

2年男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ハンドボール投げ	体力合計点
学校平均	26.59kg	26.13回	43.25cm	51.18回	83.61回	7.83秒	194.89cm	20.5m	40.54
東京都平均	28.74kg	25.99回	43.94cm	51.98回	77.31回	8.05秒	198.17cm	20.82m	41.35
全国平均	30.24kg	26.42回	45.16cm	53.02回	82.63回	7.82秒	203.14cm	21.41m	43.75
R6年度(1年次の学校平均)	22.37kg	22.94回	39.8cm	47.71回	71.94回	8.51秒	180.35cm	17.02m	33.85

3年男子は、全体的に東京都、全国平均と比べて低い傾向にある。特に、20mシャトルランと反復横跳びは、東京都、全国平均共に大きく下回っている。しかし、2年次の平均と比較すると、向上した種目が多かった。

3年男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ハンドボール投げ	体力合計点
学校平均	33.33kg	27.44回	45.34cm	50.5回	79.12回	7.58秒	209.67cm	22.91m	46.3
東京都平均	33.58kg	28.08回	47.6cm	54.6回	84.33回	7.62秒	211.75cm	23.34m	48.04
全国平均	34.77kg	29回	49.4cm	55.88回	90.43回	7.46秒	216.86cm	24.23m	50.66
R6年度(2年次の学校平均)	26.9kg	25.22回	41.06cm	50.5回	73.3回	8.05秒	189.82cm	19.59m	38.91

1年女子は、全体的に全国平均より低い傾向がある。上体起こしは、東京都、全国平均共に上回った。50m走と長座体前屈は東京都、全国平均共に下回った。陸上競技の授業を通して走り方を身につけたり、補強運動等で素早く動く動作を取り入れたりすることで、向上を図る。

1年女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ハンドボール投げ	体力合計点
学校平均	21.25kg	21.45回	43.54cm	45.41回	45.66回	9.33秒	163.97cm	11.05m	44.07
東京都平均	21.03kg	20.57回	43.65cm	44.81回	45.59回	9.25秒	163.46cm	10.91m	42.43
全国平均	21.93kg	20.76回	44.04cm	45.77回	48.37回	9.02秒	167.52cm	11.66m	45.29

2年女子は、全体的に東京都、全国平均共に低い傾向がある。特に、握力と立ち幅跳びは東京都、全国平均共に下回っている。補強運動等を継続し、筋力や瞬発力の向上を図る。

2年女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ハンドボール投げ	体力合計点
学校平均	22.25kg	21.14回	44.11cm	46.39回	49.85回	8.96秒	163.02cm	12.27m	45.41
東京都平均	22.89kg	21.91回	45.93cm	45.96回	50.1回	9秒	166.66cm	12.15m	46.92
全国平均	23.9kg	22.18回	46.51cm	47.12回	53.74回	8.78秒	172.45cm	13.22m	49.87
R6年度(1年次の学校平均)	20.44kg	19.33回	41.56cm	45.33回	44.95回	9.43秒	158.49cm	12.07m	41.6

3年女子は、全体的に全国平均より低い傾向にある。特に、上体起こしと反復横跳びは、東京都、全国平均を大きく下回った。2年次の平均と比較すると、横ばいかやや上回った種目が多かった。

3年女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ハンドボール投げ	体力合計点
学校平均	24.38kg	20.42回	46.54cm	44.38回	50.08回	8.75秒	171.8cm	12.73m	48.11
東京都平均	24.13kg	22.66回	47.75cm	46.4回	49.68回	8.91秒	168.05cm	12.97m	48.97
全国平均	25.2kg	23.46回	48.63cm	48.35回	53.82回	8.73秒	174.37cm	14.12m	52.44
R6年度(2年次の学校平均)	22.63kg	20.36回	46.17cm	46.5回	47.9回	8.72秒	165.26cm	11.86m	47.57

全体を通して

全学年に共通して、全国平均より下回る種目が多かった。2・3年生は、全国や東京都平均には達しないものが多いが、前年度の平均を上回るか横ばいの種目が多かった。保健体育の授業に前向きに参加したり、運動部に加入する生徒が多かったりすることが、体力の維持につながったと考えられる。

下の表は、東京都生徒体力・運動能力調査の意識調査を抜粋したものである。それぞれの質問に対して「思う」、「やや思う」と回答した割合を示した。全体的に高い割合を示しており、運動やスポーツ、体育の授業に意欲的に取り組んでいることがわかる。また、授業以外でも運動やスポーツをしたいと回答する割合が、学年があがるにつれて高くなっている。保健の授業等を通して、心身の健康のためには運動が必要であることや、自分と運動やスポーツとのかかわり方を考えることで、運動の必要性が高まったと考えられる。また学年があがると、部活動の引退により運動機会が急激に減ったり、様々なストレスを感じたりする時期でもある。体力の向上と心身の健康のために、授業以外に運動する時間や場所を確保することも今後の課題である。

	1年	2年	3年
保健体育の授業は楽しいと思いますか	88%	98.9%	88.9%
あなたにとって運動やスポーツは大切ですか	94%	96.9%	91.7%
運動やスポーツをすることは好きですか	87.7%	91.8%	87.7%
授業以外でも運動やスポーツをもっとしたいと思いますか	78%	86.7%	95.6%